

ファッション  
One Point  
アドバイス

## この秋のアイテム シャツワンピース

2017-18 秋冬のトレンドキーワードは“多様性”。あらゆる女性に向けたダイバーシティウェアを、各ブランドが提案しています。そんな中で、この秋一押しのアイテムは、『シャツワンピース』です。

シャツワンピースと言えば、80年代、ラルフローレンブランドが人気を集めていました。ギャザーたっぷりのものからフレアタイプのもので、ストライプ柄のロング丈のワンピースは、ロカビリー時代を知らない当時の20~30代にとっては、新鮮に映ったことを覚えています。でも、今年トレンドのシャツワンピースは、当時のようなウエストをしっかりと絞ったタイプではありません。



ワンピース単体として着られることはもちろんのこと、薄手のコートのように羽織物にしたり、スキニーのパンツやショートパンツと組み合わせたりと、色々な着回しができるのが特徴です。

ウエスト部分に切り替えがあるデザインでも、ジャストフィットせず、ゆったりとしたタイプ。ウエストを絞りたければ、細ベルトや共布の紐ベルトで軽くゆったりと縛り、パンツに合わせるなら、前開きのボタンを何個閉めるか、自身のセンスでアレンジを楽しめます。

ただ、今年こだわりたいのは“丈”。人気は何といても、くるぶし丈ぐらいのマキシムロングです。後ろだけでなく、両サイドにもスリットが入った今ならではのデザインに、お洒落好きな人はトライしてみたいのではないでしょうか？ シャツ感覚をより楽しみたいなら、バリエーションも豊富な膝上丈のロングシャツタイプを選ぶと良いでしょう。

# Clipbox Topics

## リユース・ファッションが 急激に拡大しています

アパレル業界は、大量に安価な製品を開発途上国で生産し、過剰な在庫を抱えて、より低価格で処分するということが続けてきたことで、今や産業の危機を迎えていると言われています。



急成長する古着マーケットのZOZOUSEDのホームページで、注目されているのが古着のリユース（二次流通）マーケットです。

今年の5月末に出版された『誰がアパレルを殺すのか』（杉原淳一・染原睦美著、日経BP社刊）という書籍が、通販サイトアマゾンのアパレル・ファッション部門ベストセラーランキング1位となっています。ここには、安価な新品よりも、価値のあるものを繰り返し着続けることが、これからは求められるとしています。そのために、新品よりも古着市場のほうが拡大していくだろうと予想しているのです。最終章では「『来年にはごみになる』服を作らない」というパートで締めくくられています。

誰が  
アパレルを  
殺すのか

業界激震！  
オンワードや  
ユニクロを脅かす  
「破壊者」たちは

## 暮らし応援ニュースレター

# HomeDry News

ホームドライニュース No. 75



ファッション・ワンポイント:この秋のアイテム・シャツワンピース  
クリップボックス・トピックス:リユース・ファッションが急拡大  
衣類のケア講座:水洗による問題点  
衣生活の知恵:パイルニットは毛羽が落ちやすい

まごころクリーニング  
ホームドライ ホームドライ  
http://homedry.or.tv/



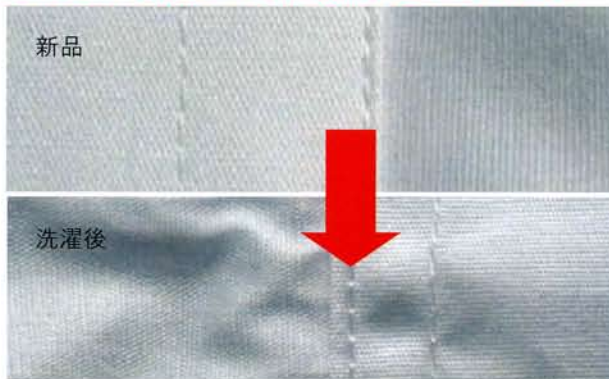
## 衣類のケア講座

### 水洗いによる問題点

#### ●下着なら水で洗っても気にならないこと

一般家庭で水洗いするものは、下着類が多いと思います。新品の下着の生地は滑らかで光沢があり、形も整っていますが、一度着用して洗濯するとどうでしょう？生地がゆがんで毛羽立ったようになってはいませんか。それでも清潔になっているのなら、気にせず着用します。しかし、外出着の場合、滑らかな光沢やデザインが気に入って、ファッションを楽しんでいるのですから、台無しになってしまうことになります。

#### ●綿製品は水洗いすると変形するという性質

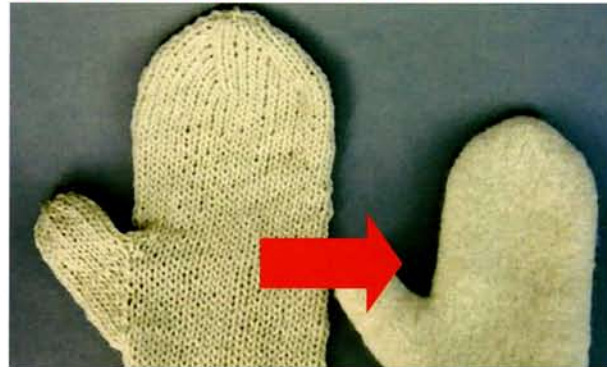


綿やレーヨンなどの製品は、水に入れて乾燥するだけで、縮んで変形します。これは、繊維が水

を吸い込んで一時的に太くなることによって全体が変形するという現象です。

そこで、アイロンを掛けて表面を滑らかにしながら、押し広げるようにして形を整えるということになります。しかし、平らな布ならいいのですが、立体的で複雑な構造のファッション衣類を新品のような状態に復元することは大変です。

#### ●獣毛繊維は水洗いすると縮むという性質



羊毛やカシミアなどの獣毛繊維は、水の中に入れてゴシゴシ洗うと、どんどん縮んでしまう性質があります。これは、専門的にはフェルト化収縮というのですが、水を吸収した獣毛繊維の表面のエピキューティクル（スケール）といわれるウロコ状のものが開いてささくれ立ち、繊維が絡み合うことによって縮んでしまうことになるのです。

#### ●プロのウエットクリーニングという技術

プロのクリーニングでは、ウエットクリーニングという特殊な水洗い技術があります。これは、各種の薬剤や洗浄技術を駆使することによって水の影響を抑え、高度な整形仕上げによって形態を復元するというものです。新しい取り扱い表示ではⓂという記号が付けられています。Ⓜマークの記号が洗濯表示に付けられている品は、専門のクリーニング店にお任せください。



パイルニットは毛羽が落ちやすい!?



ニットの基布にレーヨン糸などを緩く編みこんでソフトな風合いになっているパイルニット製品のTシャツやカーディガンなどがあります。

パイルニット製品は、カットソーなどのニット製品でも薄く毛羽立ちがある風合いになります。気抜けしやすいので、バックキングといって毛羽（パイル）が抜け落ちないように裏打ちする仕上げ法がありますが、この場合生地が硬くなったり厚くなったりして、風合いが損なわれます。通常、毛抜け防止剤という接着樹脂の一種で毛羽を固定する加工がされていたりします。ベルベットや別珍のようなパイル織物以上に、パイルニット製品は生地が伸び縮みするため、毛羽が抜けやすいといえます。夏の直接肌に触れる着用は、汗が浸透して接着樹脂が弱くなります。また、ショルダーバッグのベルトで摩擦するのも危険です。